

介護保険のいまと未来 を考えるつどい

2018. 12. 8(土) 午後1:00~5:00
午後0:30開場

主なプログラム

資料代:ひとり500円

●講演Ⅰ

横浜市・第7期高齢者保健福祉計画の概要と特徴

佐藤 泰輔 さん(横浜市・高齢健康福祉課長)

●講演Ⅱ

どうなる、どうする介護保険〜誰でも利用できる介護保険をめざして〜

林 泰則 さん(全日本民医連・事務局次長)

●介護利用者・事業者・従事者・自治体・地域の方からの報告と討論



介護利用者と家族、事業者、 従事者に「笑顔」と「希望」を!!

今年4月から、各市町村の「第7期介護保険事業計画」が始まりました。2020年度までの市町村の介護保険料は、平均で月額5,283円、308円の引き上げで、高齢者の生活はますます困難になります。国の負担割合(25%)を増やすことなしに改善できるものではありません。

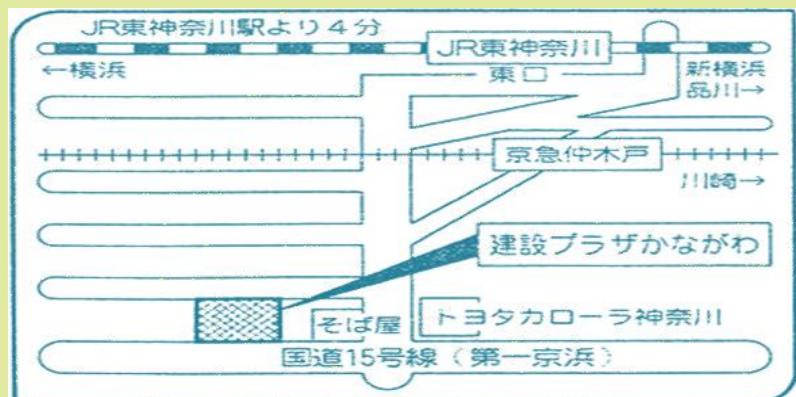
つどいは、横浜市の第7期介護事業計画を学び、安心の介護を実現するために何が必要かを探る機会にします。市民、利用者・家族、事業者、従事者、自治体関係者などが一堂に会して、それぞれの立場から介護制度について考え経験を交流し合う場にしたいと思っています。みなさんのご参加をお待ちしています。

《会場》

建設プラザかながわ2Fホール

横浜市神奈川区神奈川2-19-3
☎045-453-9701

- JR京浜東北線・「東神奈川駅」下車徒歩5分
- 京急・「仲木戸駅」下車徒歩3分



主催:「第10回介護保険のいまと未来を考えるつどい」実行委員会
連絡先:神奈川県社会保障推進協議会(横浜市中区桜木町3-9) TEL045-201-3900 FAX045-212-5654